



住宅用屋外手すり フリーRレール

取扱説明書 / 施工要領書

埋め込み式 S支柱/Sエンド支柱

BJ-217ST/BJ-218DB BJ-209ST/BJ-210DB

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになった後もすぐ取出せる場所に大切に保管してください。

【施工業者様へ】

施工後は、お客様に必ず本書をお渡しください。

【お客様へ】

本書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方に本書をお渡しください。

マークの種類について

- ⚠ 警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容
- ⚠ 注意 軽傷または物的損害が発生する可能性がある内容
- ⊘ 禁止行為
- ❗ 必ず行う

本製品のアルミダイキャスト部分には再生アルミ合金を使用し、
地球環境への配慮を行っております。

マツ六株式会社
〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
TEL: 06-6774-2255 FAX: 06-6774-2248
<https://www.mazroc.co.jp/>

2024年10月1日改定【02】

⊗ 強い衝撃を与えない。

本製品に物をぶつけたり、強い衝撃を与えない。手すりが破損し、思わぬケガの原因になる。



⊗ 破損があるものは使わない。

手すり部分にささくれ、大きなヘコミ等の破損がみられた場合はすぐに使用を止める。手にケガをする恐れがある。



⊗ 製品に乗ったり、ぶら下からない。

本製品に乗ったりぶら下からない。手すり棒がたわんだり、支柱やブラケットが破損し、思わぬケガの原因になる。



⊗ 火を近づけない。

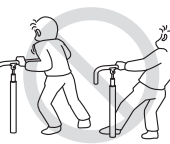
本製品にタバコなどの火を近づけない。変形、変色の原因になる。



⚠ 警告

⊗ 製品に無理な力を加えない。

本製品を無理に押ししたり、引いたりしない。手すり棒が曲がったり、支柱やブラケットが破損し、思わぬケガの原因になる。



⊗ 支柱のカット以外で製品を分解・改造しない。

固定部のボルト等をゆるめたり、製品を分解・改造したりしない。使用時に脱落したり予期せぬ故障の原因になるばかりか、重大事故につながる場合がある。



⚠ 本製品にささくれ等の破損がみられた場合はすぐに使用を止めて、施工店またはマツ六まで相談する。



お手入れ方法

利用者用

ふだんはやわらかい布で拭く。汚れがひどいときは、中性洗剤をしみこませた布で拭き、その後水拭きをする。仕上げに乾拭きをして、水分を完全に取り除く。汚れが目立たないうちから、こまめなお手入れを行うこと。

⚠ 注意

⊗ 酸性、アルカリ性洗剤は使用しない。

酸性、アルカリ性洗剤、ベンジン、シンナー等はツヤがなくなったり、変形、変色の原因になるので使用しない。



⊗ クレンザー、磨き粉は使用しない。

クレンザーや磨き粉など粗い粒子を含んだ洗剤、ナイロンタワシなどの傷を付けやすいものは使用しない。



❗ ブラケット(支柱)ピッチは下記寸法を必ず守る。

支柱ピッチは上部支柱の芯～芯で計測する。

曲がる手すり棒の場合

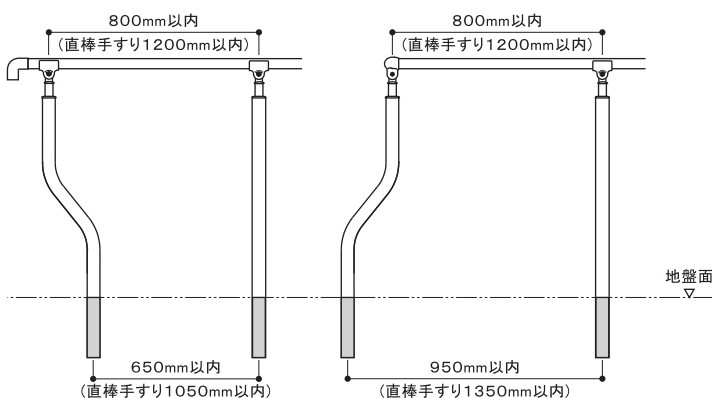
- ブラケット(支柱)3個以上使い …800mm以内
- ブラケット(支柱)2個使い(1スパン) …700mm以内

※支柱は必ず2本以上使用して手すりを取付けてください。

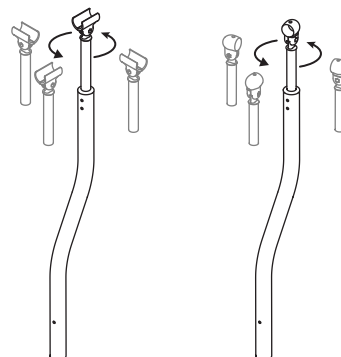
直棒手すりの場合

- 1200mm 以内

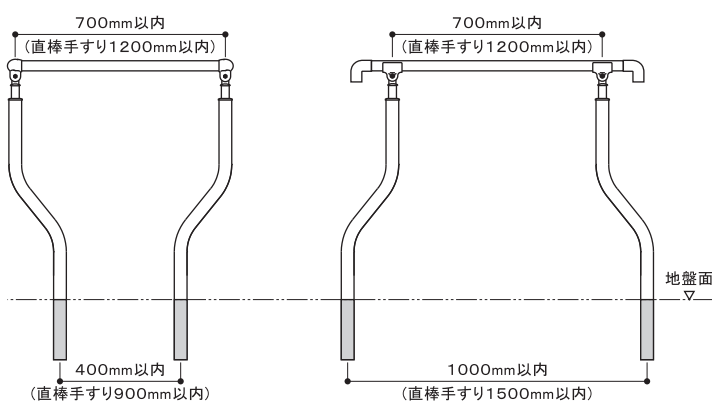
●ブラケット(支柱)3個以上使い



●上部支柱はどの向きを向いても構わない。

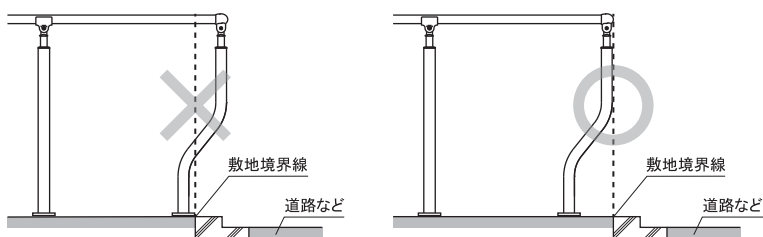


●ブラケット(支柱)2個使い(1スパン)



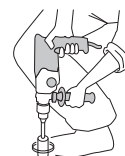
⚠ 警告

⊘ 支柱が敷地境界線を越えてはいけない。



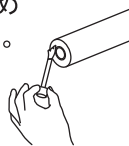
⊘ コア抜きは両手だけで行わない。

コンクリートのコア抜きは振動ドリルに膝等を当て、両手だけでは行わない。コンクリート内の鉄筋にコアドリルが当たると、振動ドリルにカウンタートルクが働き、骨折などケガをする恐れがある。

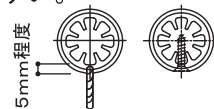


- ❗ 曲がる手すり棒を使用する場合は必ず防水パッキンと錆び止めローバル(別売)を使用する。

腐食や変色の原因になる。



- ❗ 直棒手すりを使用する場合は手すり芯材のリブとの干渉を防ぐ為、下穴の切削は深さ5mm程度で止め、手すり棒固定用のねじを打つと施工がしやすい。



- ❗ 手すり棒を仮止めする際は、必ず2本(個)以上の支柱(ブラケット)へ手すり棒をのせて作業を行なう。

ねじや支柱(ブラケット)が破損する原因になる。

- ⊘ 直棒手すりは曲がらない。

曲げる際は「手すり棒」を使用する。

〈手すり棒断面〉 〈直棒手すり断面〉

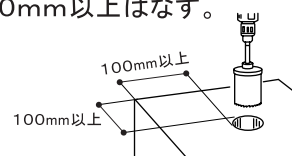


- ⊘ 手すりをブラケット(支柱)に取付けた状態で手すりを曲げない。

ブラケット(支柱)が破損する原因になる。



- ❗ ヘリあき寸法は100mm以上はなす。

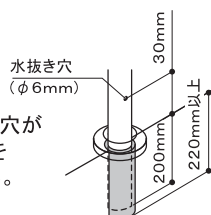


独立基礎に施工する場合は250×250×H500mmのコンクリート基礎とする。

⚠ 注意

- ❗ 埋め込み式支柱には必ず水抜き用の穴があいている状態にする。

支柱に設けられている水抜き用の穴は必ず床上来るようにする。もし施工上、支柱の切断等で水抜き穴がなくなった場合は、新たに水抜き穴をあける。支柱内の破損の原因になる。



- ❗ 施工時製品に付着した切り粉やモルタルは速やかに清掃する。

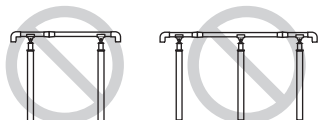
表面にキズがつき腐食の原因になる。



- ⊘ モルタルに急結剤を混ぜない。また、塩化物を含むモルタル・コンクリートを使用しない。アルミと反応し支柱を腐食させる恐れがある。

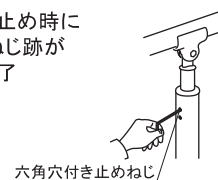
- ⊘ ジョイントは最小限の数で取付ける。

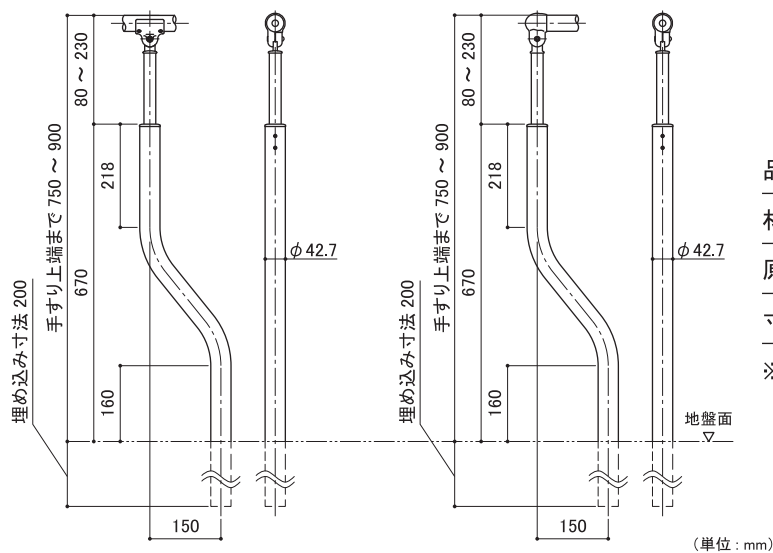
手すり棒ジョイントは、手すり棒の定尺寸法(2m材、3m材)及び直棒手すりの定尺寸法(2m材、4m材)を考慮し、最小限の数量とする。また、手すり全長が定尺寸法内の場合はジョイントをしない。



- ⊘ 六角穴付き止めねじは仮止め時に強く締め付けない。

六角穴付き止めねじは仮止め時に強く締め過ぎると支柱にねじ跡が付くことがある。施工が完了するまで、本締めしない。





品名: フリー R レール 埋め込み式S支柱 / Sエンド支柱

材質: 支柱 / アルミ合金・アルミ型材、ブラケット / アルミ合金

原産国: 日本

寸法: 図参照

※ 材質の特性と製造の関係上、カーブ部分の内側に小さなシワが入ります。強度に問題はございませんので、あらかじめご了承ください。

部品明細

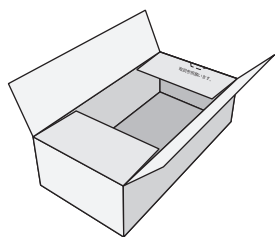
施工者用

使用する支柱の付属品を確認する。



施工手順 梱包箱の活用方法

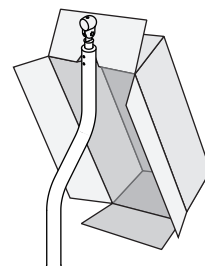
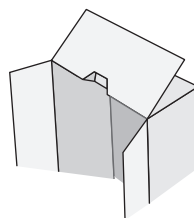
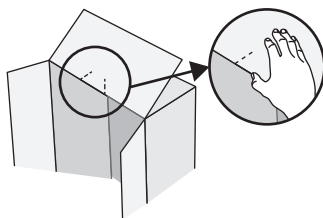
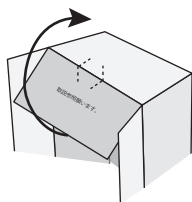
施工者用



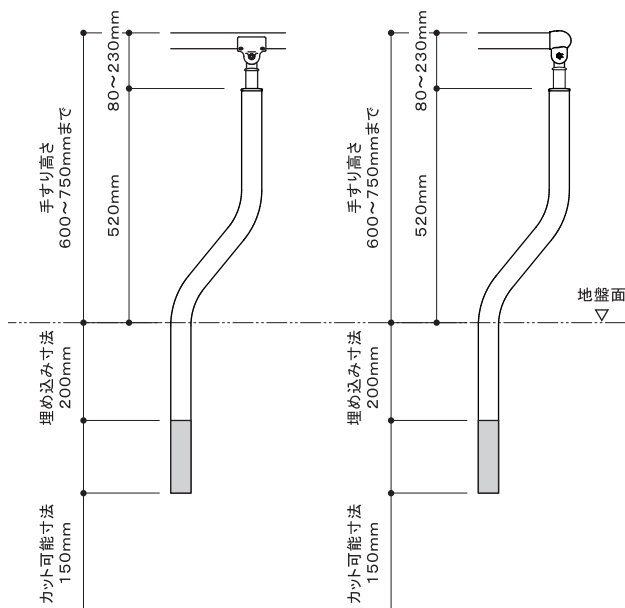
● 梱包箱は、S支柱 / Sエンド支柱の施工時に補助具として活用できます。

※ あくまでも施工時の補助具であり、完全に支柱を支持することはできません。支柱が倒れた事による返品は受けかねますので、あらかじめご了承ください。

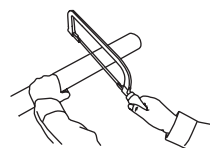
- ① 梱包箱の文字のある面を開く。
- ② ミシン目に沿って梱包箱を破る。
- ③ 押し込んで、くぼみをつくる。
- ④ 支柱を立て掛ける。



【支柱のカット可能範囲】



金ノコ等で希望の長さにカットする。

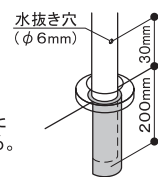


⊘ 支柱は150mm以上カットしない。

❗ 支柱用側面ブラケット(BJ-25ST)または、支柱用側面ブラケットN(BJ-127ST・BJ-128ST)に取付ける場合は、支柱下部より80mm以上カットする。



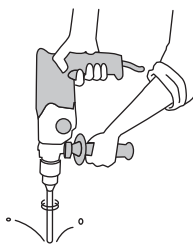
❗ 支柱をカットし、水抜き穴がなくなった場合は、新たに水抜き穴をあける。支柱内の破損の原因になる。



施工手順 支柱の埋め込み方法

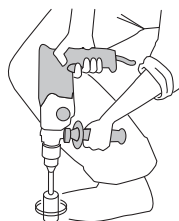
施工者用

① 振動ドリルで下穴(φ6mm)をあける。



② コアドリル(φ60mm)で深さ220mm以上の穴をあける。

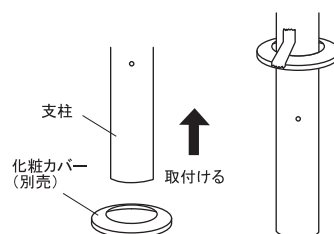
※φ60、深さ220mmが確保できない場合、複数本の支柱のうち1本はφ50程度、深さ120mm以上でも可。



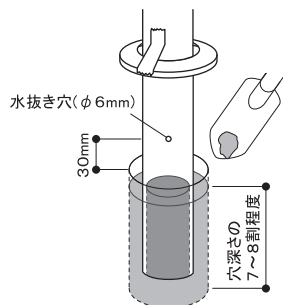
⊘ コンクリートのコア抜きは振動ドリルに膝等を当て、両手だけでは行わない。コンクリート内の鉄筋にコアドリルが当たると、振動ドリルにカウンタートルクが働き、骨折などケガをする恐れがある。

③ 【別売の化粧カバーを使用する場合】支柱の下面から化粧カバーを取付け、化粧カバーが落下しないようテープで仮止めする。

※化粧カバー後付けは除く。

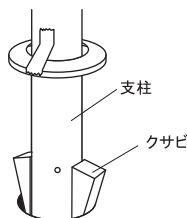


④ 穴深さ7~8割あたりまでコンクリートを流込み、支柱の内部にコンクリートが充填されるよう挿入する。支柱のカット等により水抜き穴がなくなった場合は、あらかじめ新たに床仕上り面から30mm程度の高さに水抜き穴(φ6mm)をあけておく。



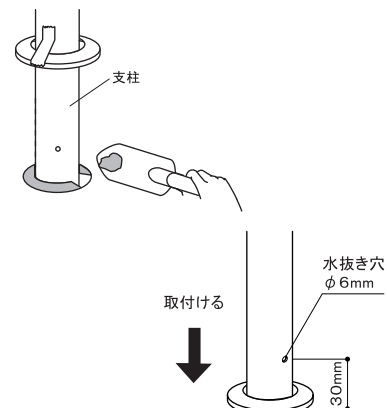
❗ 水抜き穴は、必ず床上来るようにする。

⑤ 支柱が垂直になるようにクサビで調整した後、穴にモルタルを流し込む。

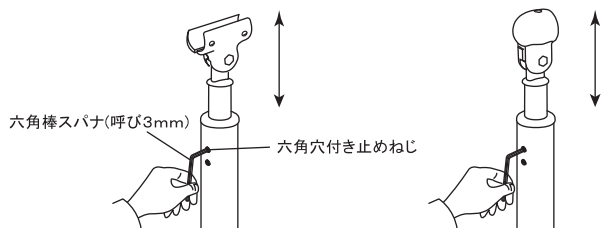


⊘ モルタルに急結剤を混ぜない。また、塩化物を含むモルタル・コンクリートを使用しない。アルミと反応し、支柱を腐食させる恐れがある。

⑥ モルタルが仮硬化したらクサビを去除し、クサビ跡をモルタルで補修し、化粧カバーを取付けて完了です。



高さを決めて六角穴付き止めねじ(2か所)を固定する。

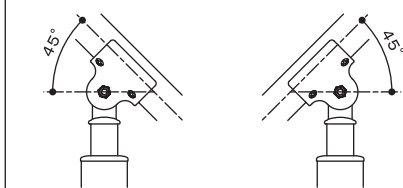


⚠ 六角穴付き止めねじは仮止め時に強く締付けない。
支柱にねじ跡が付くことがある。施工が完了するまで、本締めしない。

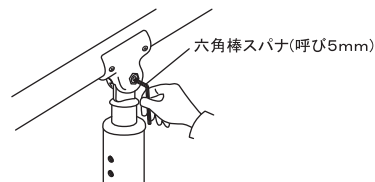
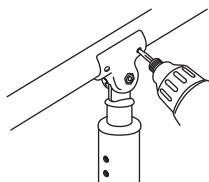
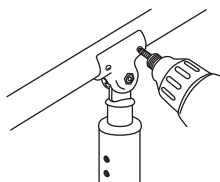
施工手順 手すり棒の固定方法

標準

【角度調整範囲】

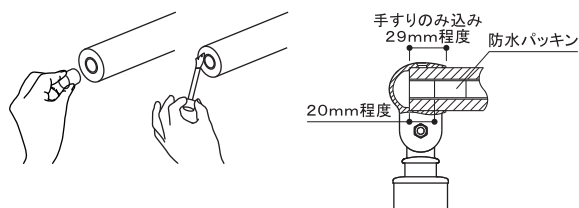
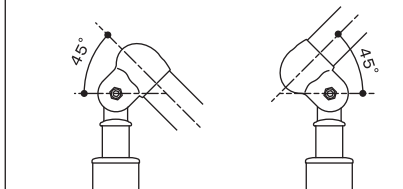


- ① $\phi 3.3\text{mm}$ の下穴をあける。
- ② 皿ドリルねじ(4×25mm)で固定する。
- ③ 六角棒スパナ(呼び5mm)で首振り角度を固定する。



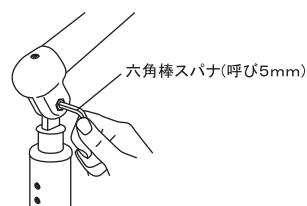
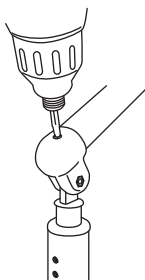
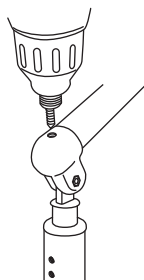
エンド

【角度調整範囲】



⚠ 曲がる手すり棒を使用する場合は
必ず防水パッキンと錆び止めローバル(別売)を使用する。

- ① $\phi 3.3\text{mm}$ の下穴をあける。
- ② 皿ドリルねじ(4×25mm)で固定する。
- ③ 六角棒スパナ(呼び5mm)で首振り角度を固定する。



Free ~~R~~ rail